

平成 29 年度高校・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業 ～No vegetable , No Life 大学生編～ 実施報告

1 目的

大学・専門学校等との連携により、学生食堂において継続的かつ効果的に取り組める手法を検討し、学生食堂の食環境整備を推進することを目的とする。

2 対象 大学・専門学校等

3 内容

(1) 学生食堂での食育実践支援～学生食堂から発信！NoベジNoライフ！～

学生食堂での食育を支援し、食堂を通じた効果的な食育事例の集成、学生食堂において継続的かつ効果的に取り組める手法の検討を行った。

[主な内容]

- ・学生食堂での食育イベント（生活習慣病予防の啓発、食に関するアンケート、食生活相談、利味能力テスト等）への支援
- ・学生のニーズに合ったヘルシーメニューの提供（ニーズ調査・メニュー検討会議等）
- ・管内各大学食堂の健康づくりに関する取組み状況のランク付け 等

[実施校数] 16校

(2) 学生食堂を通じた食育実践研修会の実施

学校職員、食堂関係者等を対象に、先進的な取組事例や学生食堂での食育実施状況調査結果報告、各校の取組みの情報交換等、学生食堂での食育を実践するための具体的な手法を養う研修会を実施した。

[実施回数・参加者数] 4回・88名

4 評価

(1) 学生食堂での食育実践支援～学生食堂から発信！NoベジNoライフ！～

- ・食育イベントの実施をきっかけに、ヘルシーメニューの提供、栄養情報の提供（健康づくりに関するポスター・卓上メモの掲示等）につながった。
- ・食育イベント支援は、イベント終了後の給食会議への支援や大学看護師との連携等により学校の実態に合わせた改善提案を行うことができ、支援校の継続的な取組みにつながることができた。
- ・大学食堂での健康づくりに関する取組み状況の調査により、先進的に取り組んでいる学校や支援が必要な学校の把握を行うことができた。

(2) 学生食堂を通じた食育実践研修会の実施

- ・研修会の案内方法、場所を工夫することで昨年度に比べて参加学校数の増加、健康管理部門職員の増加が見られた。
- ・参加者からは、学生の食生活課題の把握や給食会議の開催を行いたい等、今後の取組みに対する前向きな意見が得られた。

5 平成 30 年度事業展開 (案)

(1) 食育実践支援

- ・ 大学での主体的かつ継続的な取組みにつながる支援
(健康管理部門と食堂担当部門の連携体制への支援、啓発媒体・資料の提供等)
- ・ 食環境整備が進んでいない大学等への支援
(優先的な巡回指導、学校の体制等に合わせた取組み提案等)
- ・ 事例報告を取り入れた研修会の実施
(健康管理部門と食堂担当部門が連携した事例、教員・学生が連携した事例等)

(2) 食環境整備

- ・ 学内コンビニ等への働きかけ
- ・ 学生食堂での野菜たっぷり・適油・適塩メニュー (V.O.S.メニュー) の提供支援